

主要産地における平成29年産水稻の収穫量及び作柄概況等について 第1報（8月31日現在）

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部（平成29年9月1日）

全 国 道 府 県	収穫量（早期栽培等）			作況 （早期栽培等）		作柄		品質概況等		参考			
	予想収穫量 （29年8月15日 現在）①	予想収穫量 （28年8月15日 現在）②	前年産 との比較 （①－②）	作況指数 （29年8月15日 現在）	前年産 （28年8月15日 現在） との比較	作柄の良否 （29年8月15日 現在）	登熟の良否 （29年8月15日 現在）	29年産水稻 うるち玄米 1等米比率 （29年7月末現在）	28年産水稻 うるち玄米 1等米比率 （28年7月末現在）	生産数量目標			平成29年産 自主的取組 参考値 ④
										平成29年産 ③	前年産 との比較	増減率	
全 国	t	t	t					%	%	t	t	%	t
全 国								54.1		7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000
北 海 道						平年並み	やや良			535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212
青 森						平年並み	やや不良			237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649
岩 手						やや良	やや不良			265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710
宮 城						やや良	やや不良			341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264
秋 田						平年並み	平年並み			408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532
山 形						やや良	平年並み			337,160	▲ 3,668	▲ 1.1	336,243
福 島						やや良	平年並み			332,316	1,930	0.6	331,412
茨 城						平年並み	平年並み			330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284
栃 木						平年並み	やや不良			292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531
埼 玉										148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644
千 葉						平年並み	やや不良			241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582
新 潟						平年並み	平年並み			510,184	▲ 12,533	▲ 2.4	508,796
富 山						平年並み	やや不良			181,695	▲ 1,987	▲ 1.1	181,200
石 川						平年並み	平年並み			120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667
福 井						平年並み	平年並み			122,787	▲ 1,327	▲ 1.1	122,453
長 野						平年並み	平年並み			189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350
滋 賀						平年並み	平年並み			157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604
兵 庫										176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115
岡 山										155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750
広 島										127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855
山 口										106,443	272	0.3	106,153
愛 媛										72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148
高 知	32,400	31,600	800	104	4			41.0	34.4	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870
福 岡										178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097
熊 本										185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773
宮 崎	32,200	31,000	1,200	103	6			58.3	68.3	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357
鹿 児 島	21,100	19,700	1,400	107	11			38.6	45.1	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408

収量構成要素、作柄及び品質等の概況	
道府県	自治体等公表資料（公表資料の抜粋）
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の作柄は、「平年並み」が見込まれる。これは、6月が低温・日照不足で経過したこと、穂数が「やや少ない」、全もみ数が「やや少ない」と見込まれるものの、7月中旬から下旬にかけて高温・多照で経過したこと及び全もみ数がやや少ないことから、登熟が「やや良」と見込まれるためである。 ・作柄表示地帯別の作柄は、上川と留萌が「やや不良」、オホーツク・十勝が「やや良」、その他の地域が「平年並み」と見込まれる。（北海道農政事務所 8月30日付） ・9月の病害虫の発生量は、穂いもちとはやや多、ウンカ類は少、アカヒゲホソドリカスミカメは平年並の予報（北海道病害虫防除所 8月29日公表）
青森	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稲の作柄は「平年並み」と見込まれる。これは、全もみ数が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「やや不良」と見込まれるためである。 ・作柄表示地帯別の作柄は、青森と津軽が「平年並み」、南部・下北が「やや不良」と見込まれる。 ・穂数及び1種当たりもみ数は、6月上・中旬の低温により一時生育は緩慢となったものの、7月に入ってからの気象が好天で経過したことから、「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、8月に入ってからの低温・日照不足で経過していることから、「やや不良」と見込まれる。（東北農政局 8月30日付） ・水稲作況（生育ステージ調査） （黒石） 移植日から出穂期までの平均気温は平年より1.1℃高く、日照時間は平年比122%と多かった。「つがるロマン」の出穂期は8月2日で平年より1日早かった。また、「青天の霹靂」の出穂期は8月2日で前年より1日早かった。 （十和田） 移植日から出穂期までの平均気温は平年より1.4℃高く、日照時間は平年比127%と多かった。出穂期は7月31日で平年より4日早かった。 ・水稲作況（籾殻調査） （黒石） 「つがるロマン」の籾殻は、籾長、籾幅ともに平年並で、籾長×籾幅は平年比104%とやや大きかった。また、「青天の霹靂」の籾殻は、籾長、籾幅及び籾長×籾幅ともに前年並であった。 （十和田） 「まっしぐら」の籾殻は、籾長、籾幅ともに平年並で、籾長×籾幅は平年比105%とやや大きかった。 （青森県産業技術センター農林総合研究所 8月25日付）
岩手	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稲の作柄は「やや良」と見込まれる。これは、全もみ数が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「やや不良」と見込まれるためである。 ・穂数は、7月に入ってからの気象が好天で経過したことから、「やや多い」と見込まれる。 ・1種当たりもみ数は、7月は好天で経過したものの、穂数がやや多いと見込まれることから、「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、8月に入ってからの低温・日照不足で経過していることから、「やや不良」と見込まれる。（東北農政局 8月30日付）
宮城	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稲の作柄は「やや良」と見込まれる。これは、全もみ数が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「やや不良」と見込まれるためである。 ・作柄表示地帯別の作柄は、北部、東部、中部、南部ともに「やや良」が見込まれる。 ・穂数は、7月に入ってからの気象が好天で経過したことから、「多い」と見込まれる。 ・1種当たりもみ数は、7月は好天で経過したものの、穂数が多いと見込まれることから、「やや少ない」と見込まれる。 ・全もみ数は「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、8月に入ってからの低温・日照不足で経過していることから、「やや不良」と見込まれる。（東北農政局 8月30日付）
秋田	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稲の作柄は「平年並み」と見込まれる。これは、全もみ数及び登熟が「平年並み」と見込まれるためである。 ・作柄表示地帯別の作柄は、県北と県中央が「平年並み」、県南が「やや不良」と見込まれる。 ・穂数及び1種当たりもみ数は、6月の低温により一時生育は緩慢となったものの、7月に入ってからの気象が好天で経過したことから、「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、「平年並み」と見込まれる。 ・登熟は、8月に入ってからの気象がおおむね平年並みに経過していることから「平年並み」と見込まれる。（東北農政局 8月30日付） （秋田） 8月20日現在の定点調査ほの1㎡あたりの穂数は421本（平年比95%）で平年よりやや少なく、一穂着粒数は76.0粒（同100%）で平年並、1㎡あたりの着粒数は32千粒（同95%）と平年よりやや少なくなっている。ただし、ほ場により穂数と一穂着粒数が異なっているため、1㎡あたりの着粒数が17千～42千粒とほ場間差は大きくなっている。（8月26日付） （由利） 水稲定点調査（3品種・移植8か所平均）によると、穂揃い期の㎡あたり穂数は442本（平年比92%）と少なく、一穂数は72.1粒（同104%）と平年よりやや多く、㎡あたり籾数は31,712粒（同98%）とやや少なくなっている。（8月25日付） （雄勝） 水稲定点調査（穂揃期）では、㎡穂数は419本/㎡（平年比98%）、葉数13.1葉（同+0.3葉）、一穂着粒数73.6粒/穂（同99%）、㎡着粒数30,946粒/㎡（同98%）となっている。（8月25日付） （平鹿） 穂揃期の生育調査では、穂数が425本/㎡（平年比97%）、葉数13.2葉（平年差+0.4葉）、㎡あたり着粒数32079粒（平年比98%）となっている。（8月25日付） （秋田県農林政策課）

収量構成要素、作柄及び品質等の概況	
山形	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稻の作柄は「やや良」と見込まれる。これは、全もみ数が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「平年並み」と見込まれるためである。 ・穂数は、7月に入ってからの気象が好天で経過したことから、「やや多い」と見込まれる。 ・1穂当たりもみ数は、7月は好天で経過したものの、穂数がやや多いと見込まれることから、「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、8月に入ってからの気象がおおむね平年並みに経過していることから「平年並み」と見込まれる。 (東北農政局 8月30日付) <p>(鶴岡田川) 出穂盛期は8月5日頃で平年に比べ1日遅れた。平坦部では、「はえぬき」「ひとめぼれ」：8月4～7日頃、「つや姫」「コシヒカリ」：8月10～13日頃が出穂期となった。また、今年は、例年に比べ穂揃いが遅い傾向がみられる。普及課で調査している「はえぬき」の生育診断圃では、穂数が平年比106%とやや多く、1穂数は平年比95%とやや少なく、㎡当たり籾数は平年比101%と平年並の状況。葉色は平年より淡くなっている。 出穂以降日照不足で経過し、登熟の遅れが懸念される。 刈取開始時期は、出穂後の気温が平年並に経過しているため、平年並となる見込み。但し、今年は例年に比べ穂揃いが遅く、登熟がばらつく恐れがある。(庄内総合支庁農業技術普及課 8月24日付)</p> <p>(酒田飽海) 登熟はゆっくりだが、着実に進んでいる。生育診断圃「はえぬき」(酒田市荻島)の出穂期は平年より2日遅れの8月6日で、管内の出穂盛期は平年より1日遅れの8月6日となった。今年は茎数の確保が遅れたこともあり、例年に比べて圃場間や圃場内で出穂の「ばらつき」が大きくなっている。 品種別では、「はえぬき」「ひとめぼれ」が8月3～7日頃、「つや姫」「コシヒカリ」が8月10～14日頃の出穂となった。また、生育診断圃の穂揃期の生育状況を見ると、「はえぬき」では穂数、1穂数は平年並で、㎡当たり籾数はやや多くなった。出穂と同様に例年に比べて圃場間での「ばらつき」が大きく、刈取り時期の判定には留意する必要がある。 (庄内総合支庁酒田農業技術普及課 8月24日付)</p> <p>出穂期は平年よりやや遅れ、「つや姫」は8月11日～15日頃に出穂を迎えた。穂揃期の生育調査では、穂数、1穂数が少なく、総籾数も平年よりやや少ない状況。また葉色は平年よりやや淡く、ほぼ指標通りとなっている。 (庄内総合支庁酒田農業技術普及課 8月24日付)</p> <p>(最上) 地域により、平年と比べて出穂が遅れた圃場もみられる。また、出穂以降の平均気温と日照時間が平年値を下回っていることから、登熟の遅れによる未熟粒の発生が懸念される。きめ細かな水管理を徹底し、収量と品質の低下を防ぐことがポイントになると指導。 (最上総合支庁農業技術普及課 8月28日付)</p>
福島	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稻の作柄は「やや良」と見込まれる。これは、全もみ数が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「平年並み」と見込まれるためである。 ・穂数は、7月に入ってからの気象が好天で経過したことから、「やや多い」と見込まれる。 ・1穂当たりもみ数は、7月は好天で経過したものの、穂数がやや多いと見込まれることから、「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、7月は好天で経過したものの、8月に入ってから日照が平年を下回って経過していることから、「平年並み」と見込まれる。 (東北農政局 8月30日付) <p>・8月上中旬の天候は、中通りや浜通りを中心に日照不足・低温で推移した。8月23日ころから気温が高くなり日照も回復してきているが、登熟の向上を図るため、出穂後30日間は、落水せず間断かんがいを実施するよう指導。 (福島県農林水産部農業振興課 8月25日付)</p>
茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「平年並み」と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作柄は、北部、鹿行、南部及び西部ともに「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、穂数がやや多く、1穂当たりもみ数がやや少ないとみられることから「平年並み」と見込まれる。 ・登熟は、出穂以降、低温・日照不足がみられたものの、「平年並み」と見込まれる。 (関東農政局 8月30日付)
栃木	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「平年並み」と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作柄は、北部、中部及び南部ともに「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、1穂当たりもみ数がやや少ないものの、穂数がやや多いとみられることから「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、全もみ数がやや多いことによる相反作用及び出穂以降の日照不足の影響により、「やや不良」と見込まれる。 (関東農政局 8月30日付)
埼玉	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の生育は、生育期間を通じて気温が高めであったことから「やや良」で推移している。また、作柄表示地帯別の生育は、東部が「やや良」、西部が「平年並み」で推移している。 ・出穂最盛期は、田植後の気温が高く、日照時間もおおむね確保されたことから生育が進み、平年に比べ3日早くなった。 ・草丈は、「平年並み」となった。茎数は、7月上旬から中旬にかけて高温・多照に推移したことから「やや多い」となった。 (関東農政局 8月30日付) <p>・9月の病害虫の発生量は、穂もちちは平年並、紋枯病は多、セジロウカは少、ツマグロヨコバイと斑点米カメムシ類は平年並の予報 (埼玉県病害虫防除所 8月29日公表)</p>
千葉	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「平年並み」と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作柄は、京葉及び九十九里が「平年並み」、南房総が「やや良」と見込まれる。 ・全もみ数は、穂数がやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとみられることから「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、出穂以降の日照不足の影響により「やや不良」と見込まれる。 (関東農政局 8月30日付)

収量構成要素、作柄及び品質等の概況																									
新潟	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稻の作柄は、「平年並み」と見込まれる。 ・穂数は、6月上旬の低温及び日照不足により生育が緩慢になったものの、6月下旬以降天候が回復したことから、「平年並み」と見込まれる。 ・1穂当たりもみ数は、生育が概ね順調であったことから、「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数がともに平年並みであったことから、「平年並み」と見込まれる。 ・登熟は、出穂期以降の日照時間が少ないものの、平均気温が平年並みに経過していることから、「平年並み」と見込まれる。 (北陸農政局 8月30日付) <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリの出穂期は、県平均で平年並の8月5日、稈長は指標値に比べ「並」、出穂期の葉色は「並」の状況。 ・こしいぶきの出穂期は、県平均で平年並の7月29日、稈長は指標値に比べ「並」、出穂期及び出穂期15日後の葉色は「濃い」状況。 ・積算温度からみた「こしいぶき」の収穫適期は、8月20日現在で、県平均で平年より1日遅い9月4日の見込み。 ・低温・日照不足が続いている。今後も続くと、登熟が遅くなる可能性がある。 (新潟県農林水産部 8月22日付) <p>(新発田) 早生品種の出穂期は平年より1日程度の遅れとなった。一方、コシヒカリの出穂期は平年より2日程度早まっており、早生品種との収穫作業が接近することが予想される。また、8月8日に最接近した台風5号の影響により、一部地域では着色病等の発生が散見されている。コシヒカリ(8月7日出穂)の刈取適期は9月18日～21日の見込み。(新発田農業普及指導センター 8月24日付)</p> <p>(新潟) 水管理の状況を8月18日に調査したところ、8割のほ場で飽水管理が維持され、9割以上のほ場で歩行可能な田面の硬さとなっている。また、出穂後15日頃の葉色は目標値よりやや濃くなっている。8月第3半旬以降の少照により、登熟不良が懸念される。</p> <p>主要品種の収穫適期の目安(8月24日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こしいぶき(出穂期7月28日)は、新潟で9月3日、新潟で9月5日 ・コシヒカリ(5月5日播、出穂期8月5日)は、新潟で9月13日、新潟で9月15日 ・コシヒカリ(5月10日播、出穂期8月6日)は、新潟で9月15日、新潟で9月16日 ・新之助(出穂期8月11日)は、新潟で9月23日、新潟で9月25日 <p>(新潟農業普及指導センター 8月25日付)</p> <p>(長岡) 8月25日現在、早生は、出穂期以降、高温で推移したことから、収穫適期は8月30日頃、コシヒカリは、出穂期以降の気温が平年並であることから、収穫適期は9月13日頃となる見込み。(長岡農業普及指導センター 8月25日付)</p> <p>(魚沼) コシヒカリの収穫適期のめやす(8月20日現在)</p> <p>平場―出穂期8月2日で9月11日、出穂期8月5日で9月15日、出穂期8月8日で9月19日 山場―出穂期8月5日で9月17日、出穂期8月8日で9月22日、出穂期8月11日で9月26日 (JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 8月25日付)</p> <p>(南魚沼) 管内の水稻出穂状況は平年より1日程度遅く、出穂終期は8月13日であった。</p> <p><コシヒカリの収穫適期のめやす(8月20日現在)></p> <table border="0"> <tr> <td>・南魚沼市 (出穂期) (収穫適期)</td> <td>・湯沢市 (出穂期) (収穫適期)</td> </tr> <tr> <td>8月 4日 - 9月14日</td> <td>8月 9日 - 9月23日</td> </tr> <tr> <td>8月 8日 - 9月20日</td> <td>8月15日 - 10月 1日</td> </tr> <tr> <td>8月12日 - 9月25日</td> <td>8月19日 - 10月 6日</td> </tr> </table> <p>(南魚沼地域農業振興協議会・南魚沼農業普及指導センター 8月25日付)</p> <p>(柏崎) 収穫期のめやすは、こしいぶき(出穂期7月27日)で9月3日～4日、コシヒカリ(出穂期8月5日)で9月14日～15日。 (柏崎農業普及指導センター 8月28日付)</p> <p>(上越) 8月に入り低温、日照不足が続いており、籾の黄化が遅れている。また、出穂のばらつきが平年に比べ大きく、株内での登熟のばらつきが大きくなることを見込まれる。極早生の新潟次郎の出穂期は7月20日頃で、収穫適期は8月27日以降と見込まれるが、実際の収穫適期(籾黄化率85～90%)はそれよりも4～5日遅れるとみられる。他の早生品種も同様の傾向。</p> <p><収穫適期のめやす(8月23日現在)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こしいぶき(出穂期7月30日頃)で9月6日頃(現在の状況ではこれより遅れる可能性が高い) ・コシヒカリは、出穂期8月3日頃で9月12日頃、出穂期8月5日頃で9月14日頃、8月10日頃(中山間地)で9月23日頃、出穂期8月17日頃(山間地)で10月4日頃 ・みずほの輝き(出穂期8月11日頃)で9月24日頃 ・いただき(出穂期8月12日頃)で9月26日頃～ <p>(上越地域農業振興協議会・上越地域農業振興協議会 8月24日付)</p> <p>(糸魚川) 出穂期(糸魚川地域の移植最盛期5月13日)は、8月5日と平年並で、前年に比べ3日遅くなった。8月3、4半旬の低温、日照不足により穂の揃いがやや不良で登熟が遅くなっている。</p> <p><収穫適期のめやす></p> <table border="0"> <tr> <td>・糸魚川 (出穂期) (収穫適期)</td> <td>・能生 (出穂期) (収穫適期)</td> </tr> <tr> <td>(コシヒカリ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月 2日 - 9月12日</td> <td>8月 2日 - 9月12日</td> </tr> <tr> <td>8月 4日 - 9月15日</td> <td>8月 4日 - 9月15日</td> </tr> <tr> <td>8月 6日 - 9月17日</td> <td>8月 6日 - 9月18日</td> </tr> <tr> <td>8月 8日 - 9月20日</td> <td>8月 8日 - 9月20日</td> </tr> <tr> <td>8月11日 - 9月24日</td> <td>8月11日 - 9月24日</td> </tr> <tr> <td>8月14日 - 9月27日</td> <td>8月14日 - 9月28日</td> </tr> </table> <p>(糸魚川地域振興局農林振興部 8月22日付)</p>	・南魚沼市 (出穂期) (収穫適期)	・湯沢市 (出穂期) (収穫適期)	8月 4日 - 9月14日	8月 9日 - 9月23日	8月 8日 - 9月20日	8月15日 - 10月 1日	8月12日 - 9月25日	8月19日 - 10月 6日	・糸魚川 (出穂期) (収穫適期)	・能生 (出穂期) (収穫適期)	(コシヒカリ)		8月 2日 - 9月12日	8月 2日 - 9月12日	8月 4日 - 9月15日	8月 4日 - 9月15日	8月 6日 - 9月17日	8月 6日 - 9月18日	8月 8日 - 9月20日	8月 8日 - 9月20日	8月11日 - 9月24日	8月11日 - 9月24日	8月14日 - 9月27日	8月14日 - 9月28日
・南魚沼市 (出穂期) (収穫適期)	・湯沢市 (出穂期) (収穫適期)																								
8月 4日 - 9月14日	8月 9日 - 9月23日																								
8月 8日 - 9月20日	8月15日 - 10月 1日																								
8月12日 - 9月25日	8月19日 - 10月 6日																								
・糸魚川 (出穂期) (収穫適期)	・能生 (出穂期) (収穫適期)																								
(コシヒカリ)																									
8月 2日 - 9月12日	8月 2日 - 9月12日																								
8月 4日 - 9月15日	8月 4日 - 9月15日																								
8月 6日 - 9月17日	8月 6日 - 9月18日																								
8月 8日 - 9月20日	8月 8日 - 9月20日																								
8月11日 - 9月24日	8月11日 - 9月24日																								
8月14日 - 9月27日	8月14日 - 9月28日																								
富山	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稻の作柄は、「平年並み」と見込まれる。 ・穂数は、田植期以降、概ね高温多照で推移し、分けつが旺盛になったことから、「多い」と見込まれる。 ・1穂当たりもみ数は、穂数が多いことによる相反作用が見込まれることから、「やや少ない」と見込まれる。 ・全もみ数は、穂数が多く、1穂当たりもみ数がやや少ないことから、「やや多い」と見込まれる。 ・登熟は、全もみ数がやや多く、出穂期以降の日照時間がやや少ないことから、「やや不良」と見込まれる。 (北陸農政局 8月30日付) <ul style="list-style-type: none"> ・9月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少ない、アカヒゲホソミドリカスミカメ、トゲシラホシカメシは平年並、アカスジカスミカメはやや少ない、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウナカはやや多い、セジロウナカ、トビウナカは少ないと予報 (富山県農林水産総合技術センター 8月31日) 																								
石川	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稻の作柄は、「平年並み」と見込まれる。 ・穂数は、6月上・中旬が低温で推移したものの、6月下旬以降天候が回復したことから、「平年並み」と見込まれる。 ・1穂当たりもみ数は、生育が概ね順調であったことから、「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数がともに平年並みであったことから、「平年並み」と見込まれる。 ・登熟は、出穂期以降の日照時間がやや少ないものの、平均気温が平年並みに経過していることから、「平年並み」と見込まれる。 (北陸農政局 8月30日付) 																								
福井	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における水稻の作柄は、「平年並み」と見込まれる。 ・穂数は、田植期以降、概ね高温多照傾向で推移し、分けつが旺盛となったことから、「やや多い」と見込まれる。 ・1穂当たりもみ数は、穂数がやや多いことによる相反作用が見込まれることから、「やや少ない」と見込まれる。 ・全もみ数は、穂数が多いこと、1穂当たりもみ数がやや少ないことから、「平年並み」と見込まれる。 ・登熟は、出穂期以降の日照時間がやや少ないものの、平均気温が平年並みに経過していることから、「平年並み」と見込まれる。 (北陸農政局 8月30日付) <ul style="list-style-type: none"> ・8月28日現在、コシヒカリ、あきさかりともに籾水分、青籾残存率が平年並に低下してきている。コシヒカリ(5月20日播、出穂期7月29日)の収穫予想日は9月4日頃、あきさかり(5月2日播、出穂期7月29日)の収穫予想日は9月7日。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月30日付) 																								

収量構成要素、作柄及び品質等の概況	
長野	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「平年並み」と見込まれる。また、作柄表示地帯別の作柄は、東信、南信、中信及び北信ともに「平年並み」と見込まれる。 ・全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとみられることから「平年並み」と見込まれる。 ・登熟は、全もみ数が平年並みに確保されていることから「平年並み」と見込まれる。 (関東農政局 8月30日付) ・平坦地の早生種(あきたこまち)は登熟後期(収穫直前)。コシヒカリは登熟中期。生育は平年より8日程度進んでいる。8月24日現在、刈り取り始め適期は平年より5~8日早く、昨年より1日程度遅くなるのが予想される。平年並の気温の場合、5月中旬頃の平坦部の「あきたこまち」は8月30~31日頃から収穫可能になってくると思われる。コシヒカリの刈り取り開始予測は9月11日頃からと思われる。 (松本農業改良普及センター 平成29年度作物技術普及情報14号)
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在における作柄は湖南、湖北とも「平年並み」が見込まれ、県の作柄も「平年並み」が見込まれる。 ・穂数は、田植期以降、おおむね天候に恵まれたことから「やや多い」が見込まれる。 ・1穂当たりもみ数は、穂数が「やや多い」と見込まれることから、相反作用により「やや少ない」が見込まれる。 ・全もみ数は、穂数が「やや多い」となり、1穂当たりもみ数が「やや少ない」となったことから「平年並み」が見込まれる。 ・登熟は、8月以降、気温がおおむね平年並みで推移していることから「平年並み」が見込まれる。 ・被害は、8月の台風5号により、ほ場への浸水、冠水及び倒伏がみられた。 (近畿農政局 8月30日付) ・9月の病害虫の発生量は、トビロウカ、コブノメイガは少と予報 (滋賀県病害虫防除所 8月29日)
兵庫	
岡山	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少、紋枯病、もみ枯細菌病はやや多、白葉枯病は平年並、穂枯れはやや少、トビロウカは少と予報 (岡山県病害虫防除所 8月30日)
広島	<ul style="list-style-type: none"> ・8月下旬~9月上旬の病害虫の発生量は、穂いもち(中生)はやや少、紋枯病(中生)は多、トビロウカはやや少、斑点米カメムシ類(中生)は平年並と予報 (広島県西部農業技術指導所 8月30日付)
山口	<ul style="list-style-type: none"> ・5月移植のコシヒカリ・ひとめぼれでは、養熟期に差し掛かっている。 ・6月移植のきぬむすめでは穂ばらみ期~出穂期となり、ヒノヒカリでも出穂期が近づいてきた。 ・登熟は、穂いもち「葉いもち」が見られたが、適期防除により止まっている。 (JA長門大津、長門農林事務所農業部 8月21日付)
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の病害虫の発生量は、穂いもちは少~やや少、紋枯病はやや多~多、トビロウカはやや少、斑点米カメムシ類はやや多~多と予報 (愛媛県病害虫防除所 8月29日)
高知	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培の10a当たり予想収量は499kg 平年並みの作柄となった前年産に比べ18kg増加)と見込まれる。作況指数は、104(やや良)と見込まれる。一方、普通栽培の生育は「平年並み」で推移している。 ・田植後、高温多照で推移したことから、穂数は「多い」となった。また、穂ばらみ期にあたる6月下旬以降、日照不足となったため、1穂当たりもみ数は「やや少ない」となった。 ・全もみ数は穂数が多いとなったため、「多い」となった。 ・登熟は、全もみ数が多いことや出穂期と収穫期に日照不足や台風の影響を受けたことから、「やや不良」と見込まれる。 ・作柄表示地帯別にみると、10a当たり予想収量は中東部が510kg、西部が469kg、作況指数は中東部が103(やや良)、西部が105(やや良)と見込まれる。 (中国四国農政局 8月30日付)
福岡	
熊本	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の病害虫の発生量は、穂いもち、トビロウカはやや少と予報 (熊本県病害虫防除所 8月31日)

収量構成要素、作柄及び品質等の概況	
宮 崎	<p>(早期栽培水稻)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の早期栽培水稻の作柄は、10a当たり予想収量は494kgで、作柄は「やや良」（作況指数103）が見込まれる。 ・全もみ数は、穂数がやや多くなったことから、平年に比べて「やや多い」となった。 ・登熟は、7月上旬以降の気温及び日照時間が平年並みないしやや上回って経過したことから、「やや良」となった。 ・被害は、気象被害では、8月上旬に接近した台風第5号の影響で、一部、倒伏の発生がみられた。また、虫害ではカメムシの発生が多く、スクミリンゴガイによる食害もやや多くみられたが、いもち病や紋枯病などの病害の発生がやや少なかったことなどから、平年に比べやや少なくなった。（九州農政局 8月30日付） <p>(普通期栽培水稻)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通栽培水稻の生育は、おおむね天候に恵まれたことから、「平年並み」で推移している。（九州農政局 8月30日付） ・九州南部地方では、9月5日頃からの約1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.2℃以上）（鹿児島地方気象台 8月31日発表）
鹿 児 島	<p>(早期栽培水稻)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月15日現在の早期栽培水稻の作柄は、10a当たり予想収量は472kgで作柄は「良」（作況指数107）が見込まれる。 ・全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数がやや多くなったことから「多い」となった。 ・登熟は、降雨等により一部地域で不稔もみが発生したものの、登熟期全般が高温・多照で経過し粒の肥大や充実が良好であったことから、「やや良」となった。 ・被害は、気象被害では、台風第5号の影響は軽微となっている。虫害ではカメムシの発生がみられた。病害ではいもち病、紋枯れ病等の発生がみられが、平年に比べ少なくなった。（九州農政局 8月30日付） <p>(普通期栽培水稻)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通栽培水稻の生育は、7月上旬以降、天候に恵まれたことから、「やや良」で推移している。（九州農政局 8月30日付） ・9月の普通期水稻の病害虫の発生量は、穂いもちと紋枯病の発生量は平年並、トビイロウンカと斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報。（鹿児島県病害虫防除所 8月30日公表） ・九州南部地方では、9月5日頃からの約1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.2℃以上）（鹿児島地方気象台 8月31日発表）

注1：自治体等公表資料については地方自治体及び出先機関等が公表している資料から抜粋、日付は公表日。

注2：農政局が公表している資料の「前年度比」は、確定値との比較となっている。

参考資料

平成29年度産水陸稲の収穫量(農林水産省、北海道農政事務所、東北農政局、関東農政局、北陸農政局、近畿農政局、中国四国農政局、九州農政局)、
平成28年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)、
平成29年度産米の農産物検査結果(速報値/平成29年7月31日現在)(農林水産省)、
平成28年度産米の農産物検査結果(速報値/平成28年7月31日現在)(農林水産省)、
平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標等(農林水産省)、
平成28年度産米の都道府県別の生産数量目標等(農林水産省)、

平成29年度病害虫発生予察情報第13号9月予報(北海道病害虫防除所 8月29日)、
H29水稲作況(生育ステージ調査)(靱穀調査)(青森県産業技術センター農林総合研究所 8月25日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月25日)、
おいしい米づくり情報第12号(庄内総合支庁 農業技術普及課 8月24日)、
稲作だより緊急対策号(最上総合支庁 農業技術普及課 8月28日)、
酒田・飽海米づくり情報第10号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 8月24日)、
酒田飽海つや姫情報第7号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 8月24日)、
農業技術情報第7号 日照不足・低温に関する農作物等の当面の技術対策(福島県農林水産部農業振興課 8月25日)、
平成29年度病害虫発生予報第5号(9月予報)(埼玉県病害虫防除所 8月29日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第9号)(新潟県農林水産部 8月22日)、
水稲技術情報No.8(新発田農業普及指導センター 8月24日付)、
稲作速報No.9(新潟農業普及指導センター 8月25日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 8月25日)、
稲作情報(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 8月25日)、
稲作情報No.11(南魚沼地域農業振興協議会、南魚沼農業改良普及センター 8月25日)
稲作管理情報No.8(柏崎農業普及指導センター 8月28日)、
平成29年度産「上越地域米」栽培技術情報No.9(上越農業普及指導センター、上越地域農業振興協議会上越地域米振興部会 8月24日)、
平成29年度糸魚川売れるコシヒカリ生育情報No.8(糸魚川地域振興局 8月22日)
病害虫発生予報第6号(富山県農林水産総合技術センター 8月31日)、
稲作情報No.19(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月30日)、
平成29年度作物技術普及情報14号(松本農業改良普及センター)、
平成29年度病害虫発生予報第9号(滋賀県病害虫防除所 8月29日)、
平成29年度病害虫発生予報第6号(岡山県病害虫防除所 8月30日)、
平成29年度広島県病害虫発生予察情報予報第8号(水稲)(広島県西部農業技術指導所 8月30日)、
稲作ワンポイントアドバイス(No.8)(JA長門、長門農林事務所 8月21日)
病害虫発生予報(9月)(愛媛県病害虫防除所長 8月29日)、
平成29年度病害虫発生予報第6号(9月予報)(熊本県病害虫防除所 8月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第6号(鹿児島県病害虫防除所 8月30日)

気象庁異常気象天候早期警戒情報(気象庁 8月31日)